

公開実用 昭和63- 159460

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭63- 159460

⑬ Int. Cl. *	識別記号	庁内整理番号	⑭ 公開 昭和63年(1988)10月19日
G 06 K 17/00		D-6711-5B	
G 06 F 15/02	3 3 5	G-7343-5B	
G 06 K 17/00		B-6711-5B	
G 11 C 7/00	3 1 5	7341-5B	審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 カード読取装置

⑯ 実 願 昭62- 50091

⑰ 出 願 昭62(1987)4月2日

⑱ 考 案 者 小 川 幸 治 群馬県新田郡尾島町大字岩松800番地 三菱電機株式会社
群馬製作所内

⑲ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明 細 書

1. 考案の名称

カード読取装置

2. 実用新案登録請求の範囲

ICカードの情報を読み出して当該情報を演算処理する計算機を備えたカード読取装置において、複数のICカード装着部と、各ICカード装着部に位置されたICカードを選択する選択スイッチ部と、当該選択スイッチ部からの信号に基づき、上記ICカードのいずれかに選択信号を出力してICカードを読み出し可能状態にセットする選択手段とを備えたことを特徴とするカード読取装置。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、カード読取装置に係わり、特に複数のICカードのなかから特定のICカードの情報を読み出すものに関するものである。

〔従来技術〕

従来、読み出し可能状態にセットされたICカ

ードの情報を読み出して当該情報を演算処理する計算機を備えたカード読取装置においては、単一のICカード差込口に、ICカードを個々に差し込んで読み出していた。

〔考案が解決しようとする問題点〕

上記のように従来のカード読取装置において、ICカードの情報読み出しを他のICカードの読み出しに切り換えるのは、該ICカードをその都度差し替えなければならず、操作性が悪いという問題点を有していた。

この考案は、このような問題点を解消するためになされたもので、操作性の良いカード読取装置を得ることを目的とするものである。

〔問題点を解決するための手段〕

この考案に係わるカード読取装置は、複数のICカード装着部と、これら各ICカード装着部にセットされたICカードを選択する選択スイッチ部と、この選択スイッチ部からの信号に基づき、上記ICカードを読み出し可能状態にセットする選択手段とを設けたものである。

〔作用〕

この考案においては、選択スイッチ部からの信号に基づき、選択手段が所望のICカードを選択し、この選択したICカードの情報を計算機が読み出す。

〔実施例〕

第1図は、この考案によるカード読取装置の一実施例としての外観図であり、第2図はその回路構成図である。

図中、1a～1cはICカードであり、2は読み出し可能状態にセットされたICカードの情報を読み出して当該情報を演算処理する計算機である。

3a～3cはICカード1a～1cを差し込むカード差込口であり、ICカードの装着部を構成する。

5は各カード差込口3a～3cに差し込まれたICカード1a～1cを選択する選択スイッチ部であり、プッシュスイッチ5a～5cなどから成っている。6はこの選択スイッチ部5からの信号

に基づき、上記 I C カード 1 a ~ 1 c を読み出し可能状態にセットする選択手段である。

10 ~ 12 は信号バスであり、これにより計算機 2 は信号をやり取りし、I C カード 1 a ~ 1 c の情報を読み出す。

なお、選択手段 6 は排他回路 7 と選択信号出力回路 8 から成っていて、さらに排他回路 7 は各 2 つの N A N D 回路 7 a と 7 b , 7 c と 7 d , 7 e と 7 f から成るフリップ・フロップ回路 7 A , 7 B , 7 C とインバータ 7 g , 7 h , 7 i などから成っている。

また、選択信号出力回路 8 は O R 回路 8 a ~ 8 c から成っていて、計算機 2 によって出力を制御されている。

次に、以上のように構成された本実施例の動作を説明する。

まず、どの I C カード 1 a ~ 1 c の情報を読み出すかにより、その I C カード 1 a ~ 1 c に対応する選択スイッチ部 5 のプッシュスイッチ 5 a ~ 5 c をオンする。これにより N A N D 回路 7 a と

7 b から成るフリップ・フロップ回路 7 A の出力が反転し、選択信号出力回路 8 の O R 回路 8 a の一方の入力端子の電位を「L」レベルにする。

O R 回路 8 a のもう一方の入力端子は、計算機 2 につながれていて、I C カード 1 a ~ 1 c の情報を読み出すとき、「L」レベルとなっており、O R 回路 8 a の出力は「L」レベルの選択信号として出力する。

従って、I C カード 1 a が読み出し可能な状態にセットされ、信号バス 1 0 ~ 1 2 により I C カード 1 a の情報が計算機 2 に読み出される。

なお、プッシュスイッチ 5 a をオンし、フリップ・フロップ回路 7 A が反転すると、その出力はインバータ 7 b を介し他のフリップ・フロップ回路 7 B, 7 C の入力端子に入力されているので、プッシュスイッチ 5 a をオンした場合、I C カード 1 a 以外の I C カード 1 b, 1 c の情報を読み出す場合も、同様な動作で I C カード 1 b, 1 c を選択することができる。

なお、プッシュスイッチ 5 a をオンし、すぐに

オフしても、フリップ・フロップ回路7Aは別のプッシュスイッチ5b, 5cがオンされるまで状態を保持している。

〔考案の効果〕

この考案は、以上説明したように、複数のICカード装着部と、各ICカード装着部に装着されたICカードを選択する選択スイッチ部と、この選択スイッチ部からの信号に基づき、各装着部にセットされたICカードのいずれかに選択信号を出力してICカードを読み出し可能状態にセットする選択手段とを設けたことにより、ICカードの情報読み出しを他のICカードの読み出しに切り換える場合に、ICカードを差し替えてセットしないですむので、操作性を向上させるという効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

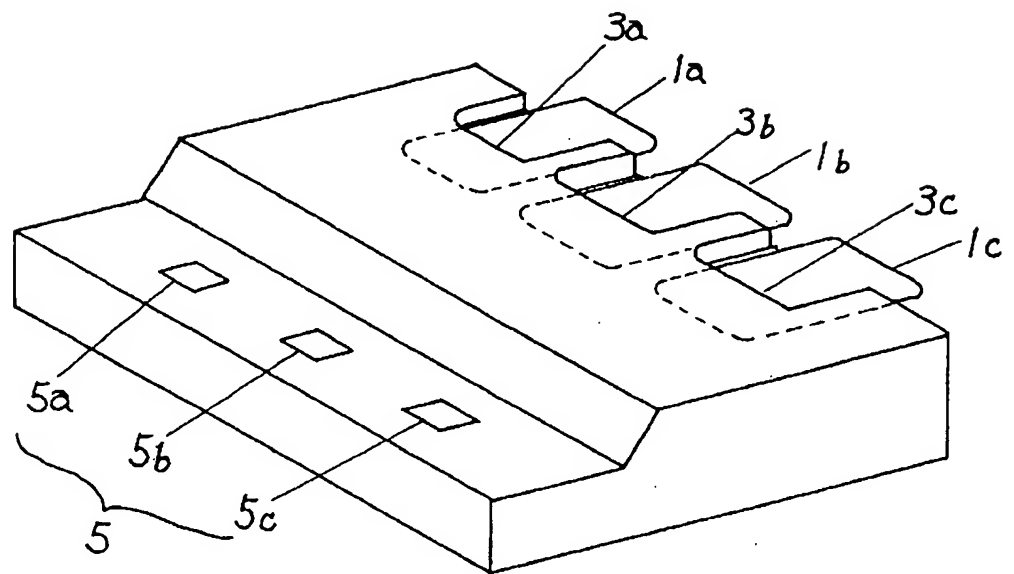
第1図はこの考案の一実施例を示す外觀図、第2図はその回路構成図である。

図において、1a~1cはICカード、2は計算機、3a~3cはICカード差込口（ICカー

ド装着部)、5は選択スイッチ部、6は選択手段である。

代理人 大 岩 増 雄 (外 2 名)

図 1



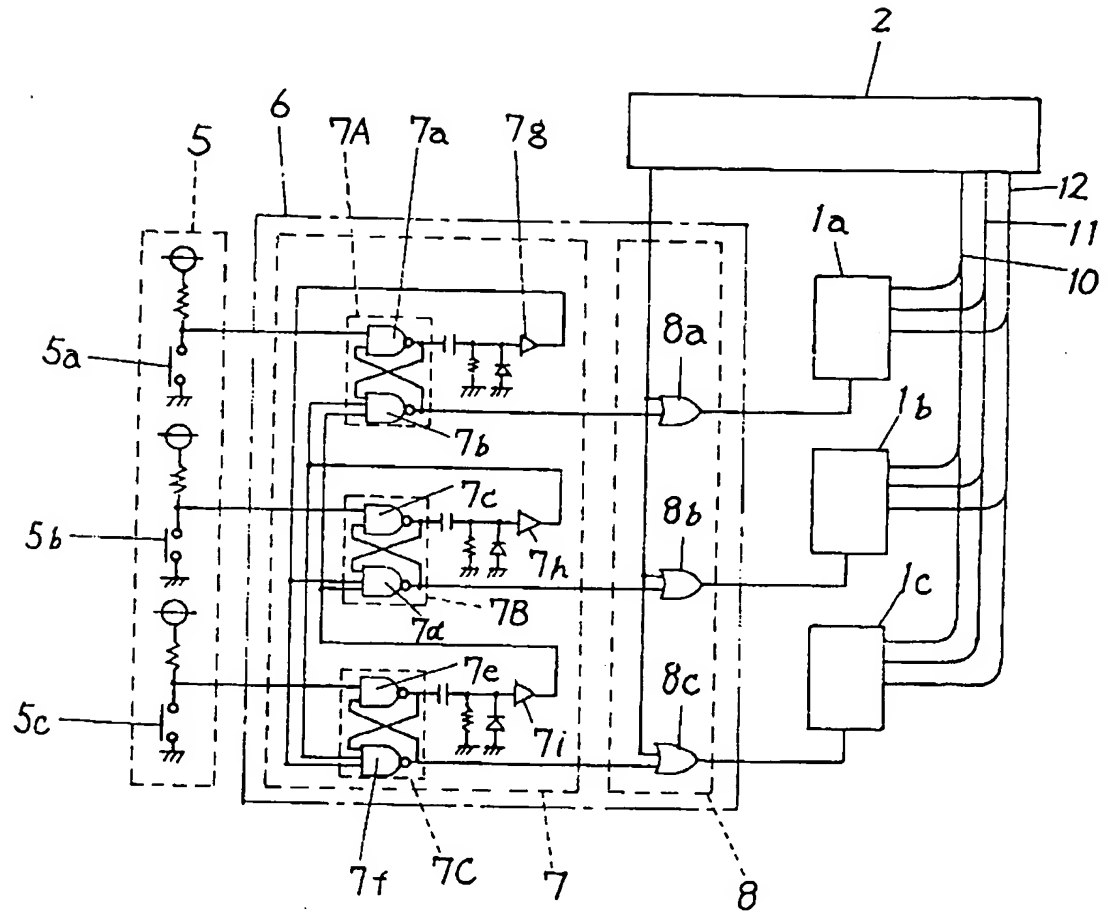
1a~1c: ICカード
3a~3c: ICカード装着部
5: 選択スイッチ部

792

実用 63-159460

代理人 大岩増雄

图 2 才



2: 计算机

6: 选择手段

793

実開 63-15940

代理人 大岩増雄